

うきたむ考古通信

2025年11月号

■発行者 うきたむ考古の会
事務局 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

訃 報

当会の監査担当役員で発足時から大きな役割を担っていただきました前山形考古学会会長の佐藤庄一氏が去る11月1日にお亡くなりになりました。6月末の群馬県中南部の遺跡の旅でも率先して古墳を駆け上るなど、お元気な様子でしたが、9月に体調不良で入院され、3回目の入院となった10月下旬に急激に悪化されたとのことでした。考古資料館・考古の会に果たされた大きな足跡は忘れることはできません。佐藤氏のこれまでのご功績に深く感謝すると共に、安らかなご永眠をお祈りいたします。

これまでの体験事業の結果

1 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

今年度は2回の開催と1回減りましたが2回目となる11月3日(月)は参加者が勾玉9名、弓矢6名、石器7名の合計22名でした。体験事業も年々参加者が減少しています。





♥ 展示状況

第 33 回企画展

「縄文時代草創期の石器工房―日向洞窟遺跡西地区―」

9 月 13 日 (土) ~ 11 月 30 日 (日)

令和 6 年度に「日向洞窟遺跡西地区発掘調査報告書」が刊行された。第 33 回企画展ではこの調査成果を多くの皆さまに知っていただくことを目的として開催することとしました。展示構成は序章から第 12 章までとしています。

序 章 縄文時代草創期遺跡群と日向洞窟遺跡西地区の調査

日向洞窟遺跡西地区の発掘調査の経過を振り返ると共に、大谷地周辺の草創期遺跡の概要を図と写真で紹介しています。



第 1 章 日向洞窟遺跡西地区出土の土器

西地区の草創期の土器は脆弱で展示できるものも多くはない。ここではVI層(草創期)の細隆起線文土器、微隆起線文土器、爪形文土器、押圧縄文土器片を 18 点展示している。



第 2 章 日向洞窟遺跡西地区住居跡出土の石器

日向洞窟遺跡西地区では竪穴状に掘り窪められた遺構が検出されたが、この内、ST4 から出土した尖頭器、有舌尖頭器、半月形石器、石鏃、石錐、搔器、削器、礫石器等合計 126 点を展示しています。



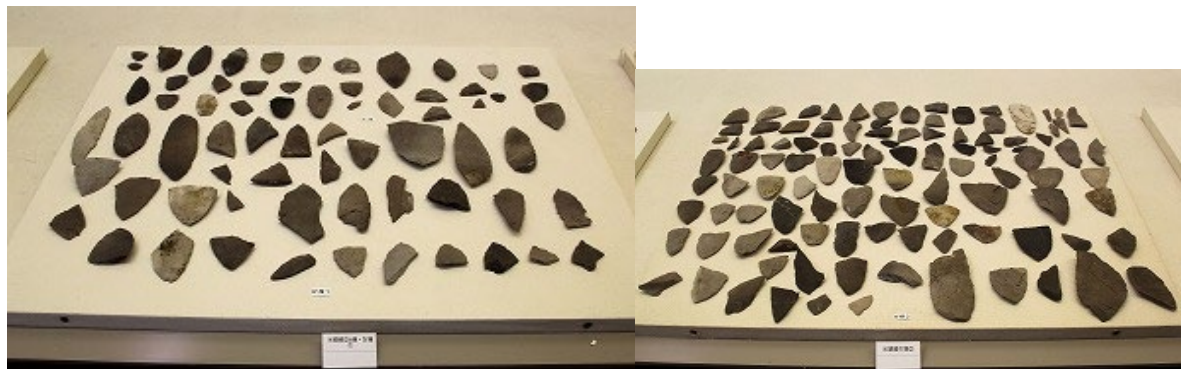
第 3 章 日向洞窟遺跡西地区土坑出土の石器

同じく土坑として登録された遺構からも石器の出土がある。この内 SK11~15 から出土した石器を合計 104 点群を展示しています。



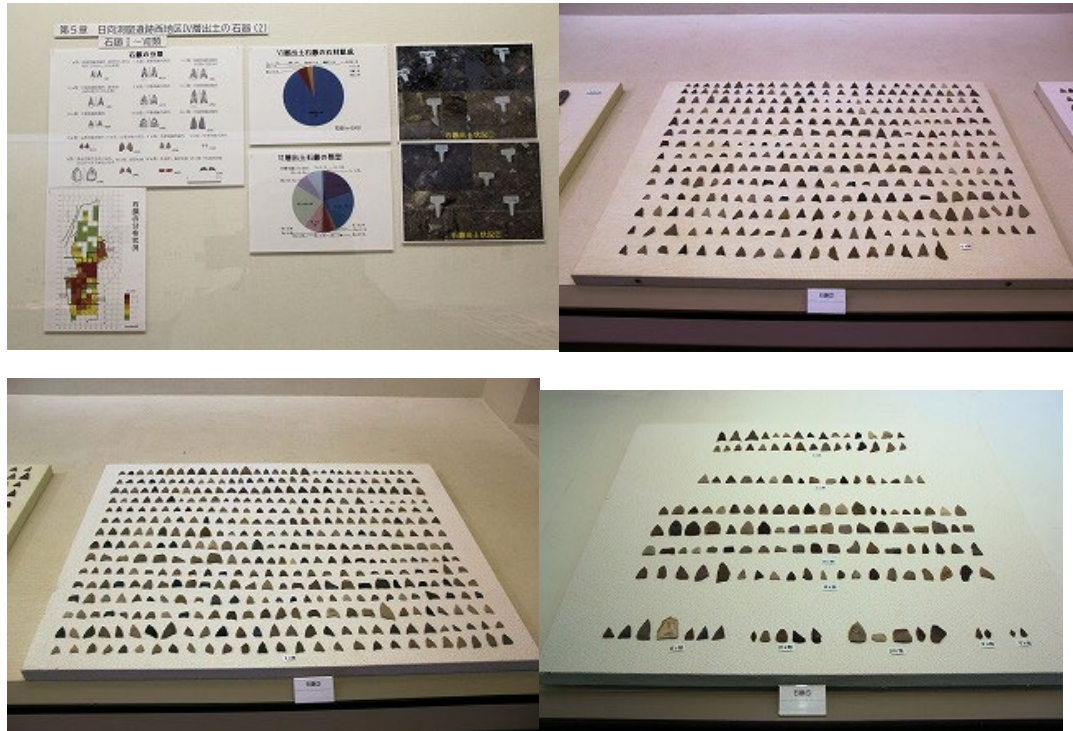
第4章 VI層出土の尖頭器・有舌尖頭器・半月形石器

日向洞窟遺跡西地区VI層から出土したⅠ～Ⅳ類の尖頭器を253点、Ⅰ～Ⅱ類の有舌尖頭器を4点Ⅰ～Ⅱ類の半月形石器33点を展示しています。



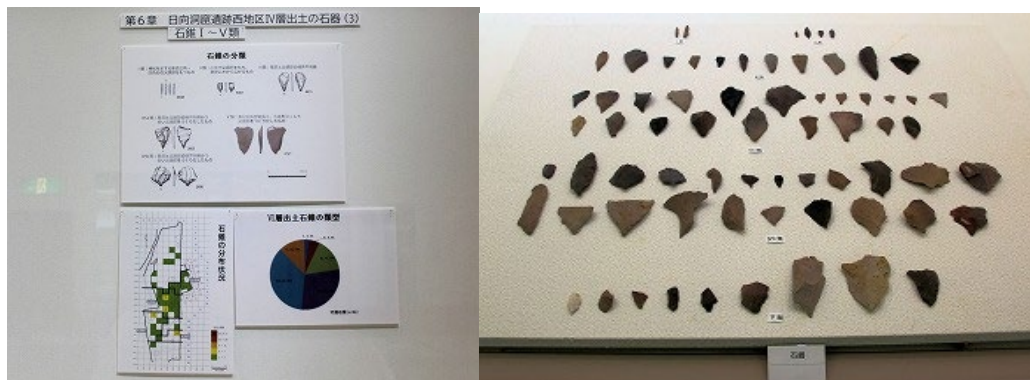
第5章 VI層出土の石鏃

日向洞窟遺跡西地区VI層から出土したⅠ～Ⅶ類の石鏃を合わせて1010点展示しています



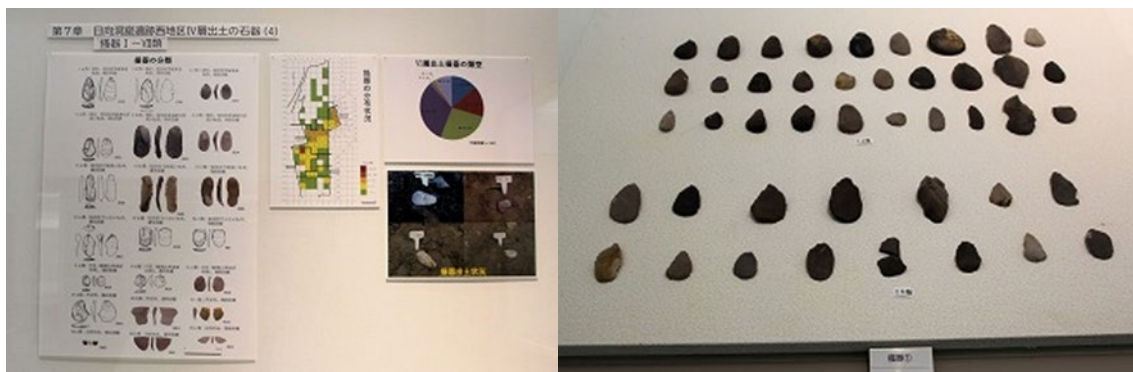
第6章 VI層出土の石錐

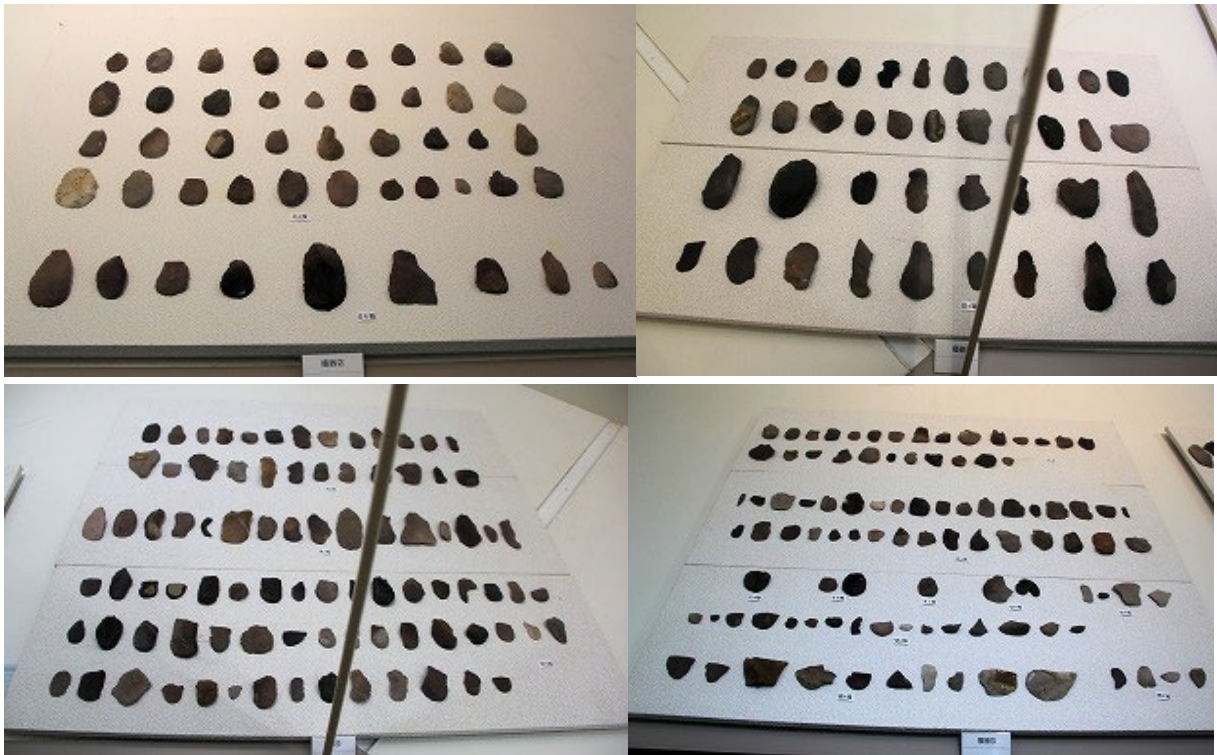
日向洞窟遺跡西地区VI層出土のⅠ～Ⅴ類の石錐を合計69点展示しています。



第7章 VI層出土の搔器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土のⅠ～Ⅶ類の搔器を合わせて319点を展示しています。





第8章 VI層出土の削器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土のI～VI類の削器を合わせて73点展示しています。



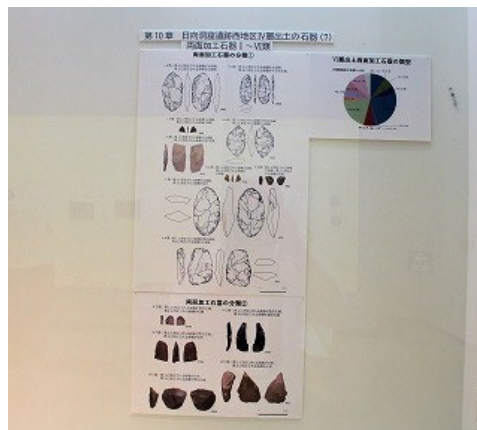
第9章 VI層出土の筥形石器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土のI～VI類の筥形石器を合わせて111点展示しています。



第10章 VI層出土の両面加工石器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土のⅠ～Ⅵ類の両面加工石器を合わせて96点展示しています。



第11章 VI層出土の石斧

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の局部磨製(Ⅰ類)、打製(Ⅱ類)の石斧を合わせて64点展示しています。



第12章 VI層出土の礫石器、石核・剥片・碎片

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の礫石器の有溝砥石・砥石・敲石凹石・磨石・石皿・棒状礫、半割礫を合わせて57点展示している。また、石核は7点、剥片の接合資料を4点、ST4の土壌の洗浄で検出された5mmメッシュに残った碎片と、3mmメッシュに残った碎片をそれぞれ3個のシャーレに入れて展示しています。



※11月30日(日)までの会期です。会員の皆様も是非ご覧ください。



大山小学校同窓会館と菱津の石棺

その次の致道博物館は、郷土文化向上のため、旧庄内藩主酒井家により創設された。江戸・明治期の歴史建造物を移築した展示室で、考古・民俗・歴史・美術分野の多様な展示品がある。

旧西田川郡役所には庄内出土の考古学資料や幕末の戊辰戦争から明治文明開化期の資料が、旧庄内藩主御隠殿では江戸時代の鶴ヶ岡城下の様子を紹介し、庄内地方で盛んに行なわれていた磯釣り関係の資料や旧庄内藩主酒井家に伝わる武具・調度品、歴代藩主の書画などが展示されている。

民具の蔵は、江戸時代末期に建てられた2階建ての土蔵で、当初は藩主の武具や調度品類が収納されていたが、致道博物館設立後は「民具の蔵」と称して庄内地方の民俗資料を展示している。1階では日本海海運関係資料や商業関係資料、2階では瓦人形や黒柿細工など鶴岡の伝統的手職資料を展示している。

重要有形民俗文化財収蔵庫に収蔵している民具のうち、8件 5,350点が重要有形民俗文化財に指定されている。

いずれも庄内地方の生活・生業にもちいられたもので、すでに失われている習俗や用具も多く、生活文化の推移と地域的特色を考えるうえで貴重なものとなっている。重要有形民俗文化財収蔵庫には、上記8件のうち、「庄内の米作り用具」以外の7件 3,550点が収蔵されている。

旧渋谷家住宅は田麦俣より移築保存した民家で旧西田川郡役所、旧鶴岡警察署と共に重要文化財（建造物）にしていされている。

酒井氏庭園は名勝に指定されている。



致道博物館にて

致道博物館の後は昼食会場の「滝太郎」へ。2,000円の特別メニューに舌鼓を打った。



昼食会場滝太郎にて（後で焼き魚が加わった）

戊辰戦争で降伏した荘内藩は、家禄の減少で生活に困窮する旧藩士族の救済や殖産を目的として、旧藩家老の菅實秀は藩の存続に力を寄せた西郷隆盛にもはかり、鶴岡東郊で大規模な開墾事業を計画した。1972年4月、手始めに旧藩士360人を6組に編成して鶴岡東郊の荒蕪地3万坪を1か月余りで開墾した。その後、月山山麓後田村の広大な山林の開墾をねらい、旧藩士卒約3,000人を34組に編成し、8月から100余町歩の開墾に着手した。士卒は銃・刀を鍬に持ちかえ、苦勞のすえわずか58日余で全域の竣工を迎えたが、困難を伴う作業の中で脱落する者も少なくなかった。開墾の本部として、開墾地内の経塚北麓に藤島村の旧本陣の建物を移築し、集会所・事務所とした。旧藩主の酒井忠發も開墾地を訪れ、経塚に登って「松ヶ岡」の榜を自筆し立て、以後「松ヶ岡」が開墾地の名称となった。



松ヶ岡開墾場（本陣での説明と場内散策）

瀧湯殿山総本寺大日坊 瀧水寺は大同2年（807）弘法大師空海により開創されといわれる大綱に構える大寺院で、明治の廃仏毀釈の嵐も乗り越えて真言宗を護持した四ヶ寺の一つである。旧地に一山を構えていた頃は、間口42間、幅12間の堂々たる大伽藍だったが、明治8年（1875）に焼き討ちにより伽藍は焼失した。現在の大日坊は明治27年の地滑りのため昭和11年に規模を縮小して移転した。また、徳川家光の時代には徳川家の別当祈願寺であった。重要文化財「金銅仏釈迦如来立像」、山形県指定有形文化財「仁王門」、山形県指定天然記念物「皇壇の杉（おうだんのすぎ）」を所有し、即身仏「真如海上人」が安置されている。



大日坊への石段



大日坊山門にて集合写真



本堂と真如海上人即身仏前にて



県指定天然記念物皇壇杉にて



企画展講演会

11月9日(日)

演 題 「日本列島の縄文時代草創期と日向洞窟遺跡」

講 師 佐藤 宏之氏(東京大学名誉教授)

♥今後の予定

👉体験事業

1 「ガラス玉をつくろう」

11月15日(土)

2 大人の自由研究②ーサケの塩引きをつくろうー

11月22日(土)、11月30日(日)、12月7日(日)各日 募集各6名

※11月6日から参加者の募集を行っています。参加ご希望の方は早めにお申し込みください

3 「コースターをつくろう」(簡易織機、あんぎん台使用)

11月29日(土)

4 「古代風ブレスレットをつくろう」

11月29日(土)

燻蒸のための休館

12月15日から数日間休館の予定です。決まりましたらホームページ上でお知らせいたします。

うきたむ学講座

11月15日の運営委員会 12月14日の実行委員会を経て今年度の実施計画が決まります。決まり次第ホームページ上でお知らせいたします。

考古資料検討会

山形考古学会との協議後に内容をホームページ上でお知らせいたします。2月上旬の開催予定です。

刊行物案内

特別テーマ展『遊佐町の考古学Ⅱ-弥生時代から中世の遊佐町-』展示図録

オールカラーA4版 85 頁

頒布価格 500 円（絶賛頒布中）

安価な頒布価格となっております。

第 33 回企画展

『縄文時代草創期の石器工房-日向洞窟遺跡西地区-』展示図録

が刊行されました。

オールカラーA4版 99 頁

頒布価格 1,500 円（絶賛頒布中）

2025 年度 特別テーマ展

遊佐町の考古学Ⅱ

— 弥生時代から中世の遊佐町 —

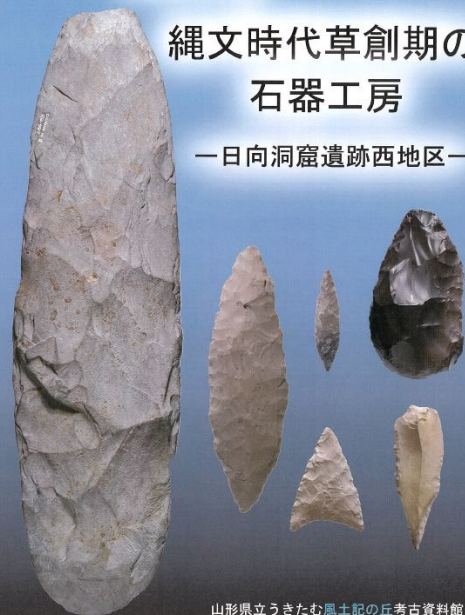


山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

第 33 回企画展

縄文時代草創期の 石器工房

— 日向洞窟遺跡西地区 —



山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
ukitamu fudoki no oka archaeological museum

東北情報館



企画展 『縄文時代草創期の石器工房』

—日向洞窟遺跡西地区—

入館料 一般／200 円 大学生／100 円 高校生以下／無料

9月13日～11月30日 うきたむ風土記の丘考古資料館 TEL: 0238-52-2585



昭和 100 年記念 『昭和の発掘調査』

入館無料

9月22日～12月5日 山形県埋蔵文化財センター TEL: 023-672-5301



『杉下地区と世尊寺展』

入館料 一般／200 円 大・高生／100 円 小・中生／50 円

10月4日～11月30日 山辺町ふるさと資料館 TEL: 023-664-5033



『フィギュアの文化史』

入館無料

10月10日～12月26日 村田町歴史みらい館 TEL: 0224-83-6822



『宮畑遺跡と福島市の縄文時代 part2』

入館無料

7月19日～11月30日 じょーもびあ宮畑 TEL: 024-573-0015



企画展 『三内丸山遺跡の重要文化財—新指定品大集合！—』

入館料 一般／500 円 大学生等／250 円 高校生以下／無料

11月7日～3月8日 三内丸山遺跡センター TEL: 017-766-8282



『最新の調査成果から探る古津八幡山遺跡』

入館無料

9月13日～3月8日 史跡古津八幡山弥生の丘展示館 TEL: 025-21-4133